

留 学 報 告 書

記入日：2023年3月31日

留学先国	ドイツ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) ゲーテ大学 (英) Johann Wolfgang Goethe-universität Frankfurt am Main
留学期間	2022年9月～2023年3月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2023年2月28日
明治大学卒業予定年月	2024年3月

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	0€	0円	学部間協定留学のため
宿舍費	1404€	204,000円	月234ユーロ×6
食費	1200€	175,000円	
図書費	50€	7,000円	
学用品費	0€	0円	
教養娯楽費	100€	14,000円	
被服費	150€	21,000円	
医療費	50€	7,000円	一度内科へ行きました
保険費	168€	24,500円	28ユーロ×6
渡航旅費	1788€	26,000円	
雑費	250€	36,000円	
その他(旅費)	1320€	191,000円	
その他()		円	
その他()		円	
合計	6480€	939,500円	

渡航関連

渡航経路	往路 成田空港→スワンナプーム国際空港→フランクフルト空港 復路 フランクフルト空港→ドバイ空港→成田空港
渡航費用	チケットの種類 正規航空券 往路 170,000円 復路 90,000円 合計 26,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路は予定日を急遽変更したことに伴いとても高くなってしまいました。航空券が高騰していたので各社のホームページを見比べて購入しました。

滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
大学寮	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
大学の紹介	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
<p>部屋は個室で洗面台や冷蔵庫、家具が備え付けられていました。キッチンとシャワールーム、ランドリールームは共同です。共同で使う部分はたまに清潔感に欠けていて困惑しましたが定期的に清掃も入りますし、キッチンで出会って交流を深める機会もあったため結果的に良かったと思います。住居費も考えるとお得です。ただ、寮は先着順でほとんど変わらない値段でとてもきれいなシングルルームに入居できた友人がいる一方、入寮できずに私の3倍の価格で部屋を借りている友人もいました。すぐに申し込むことをおすすめします。</p>	

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；日本語通訳付きの現地病院に電話予約し、問題なく治療を受けられました。
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
日本学部の先生方が渡航当初から気にかけてくださいました。また、ドイツ人の頼れる友達もたくさんいました。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
たびレジと在留届に登録していたので情報は随時メール等から得ていました。フランクフルト中央駅付近は特に治安が悪いので、出歩く時間帯に注意していました。また、滞在中は常に携帯や財布などの貴重品にストラップをつけて持ち歩く、公共交通機関で寝ない等気を付けるようにしていました。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。
寮のWi-Fiに繋ぐためのルーターを手に入れられず苦戦しました。留学生の出入りが多い時期はルーターが品薄になります。繋ぎ方がわからず困った時は寮のLAN担当の管理人さんがすぐに相談にのってくれました。寮でも学校でもWi-Fiは問題なく使えました。携帯はALDIというスーパーのプリペイドカードをチャージして使っていました。
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。
ビザを取得するために閉鎖口座を開設し、まとまった資金をいれておく必要がありました。私はFintibaというアプリ上で管理できるものを開設しました。また、ドイツで住民登録をしてから現地でN26というオンラインバンクを開設し、クレジットカードを発行して主に使用していました。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
生理用品、化粧水、メイク落とし(ドイツでは拭き取り式のものが多いため)、日本食、筆記用具、レンジ用調理器具(パスタをゆでる、お米が炊ける等)、変換プラグ

進路について

進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
一学期間の休学(春)、一学期間(秋)留学を経て、4年ですがあと一年大学に在籍するため就職先をじっくり考えてきめていきたいと考えています。
就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
留学中に 2,3 社ほど ES を提出して就職活動をしていましたが、時差もあり非常に苦労しました。私は本来であれば 2,3 卒で皆から遅れをとることに不安がありましたが、今思えばなんてことないと思えます。可能であれば焦らずにマイペースに進路を決めてもよいのではないかと思います。
進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。
その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート

留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数）
9 単位（1 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位（ 1 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
履修した授業科目名(留学先大学言語)	AkadeMi KursA
履修した授業科目名(日本語)	留学生のためのドイツ語講座
科目設置学部	ISZ-Internationales Studienentrum
履修期間	2022-2023 冬学期
単位数	9
本学での単位認定状況	3単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	クラス授業
授業時間数	1 週間に 180 分が 2 回
担当教員	Frau Djamila Lahreche
授業内容	ドイツ語の基礎的な文法の勉強、ドイツ語のみで話し続ける練習が中心でした。
試験・課題など	日頃の宿題は多めです。ワークブックやプリントから出されます。試験はドイツ語での自国のプレゼンテーション、期末の筆記試験、ドイツ語で 50 字程度指示された内容の文章作成を 12 題提出しました。

感想を自由記入	先生は基本優しいですが、私語等に厳しく落ち着いた環境で授業を受けます。基本的にドイツ語のみでクラスが進められるためドイツ語をたくさん浴びて吸収することができます。ドイツ語での説明は時々難しく、基礎的な文法を前もって理解していると伸びを実感しやすいです。受講している生徒数は徐々に減っていき、最後には最初の三分の一ほどになっていましたが通い続ければ確実に力がつきます。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	AG Lektüre kursiver Schriften Shiranui
履修した授業科目名(日本語)	白縫(古典)を変体仮名で読む
科目設置学部	Japanologie
履修期間	2022-2023 冬学期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	クラス形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教員	Michael Kinski
授業内容	白縫という変体仮名で書かれた古典作品をじっくり読み解いていく授業です。授業はドイツ語で行われますが内容は日本語のため理解できます。
試験・課題など	次回の授業までに予習として変体仮名の文章を読めるようにしておきました。
感想を自由記入	日本人の私でも難しいような内容に取り組んでいて、ドイツ人学生の勤勉さに圧倒されました。日本語を勉強している学生の集まりなので、ここで多くの友人を得ることができました。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	AG Literarisches Übersetzen
履修した授業科目名(日本語)	文学の翻訳
科目設置学部	Japanologie
履修期間	2022-2023 冬学期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	クラス授業
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教員	Nakazama Ziegler
授業内容	稲垣足穂の「一千一秒物語」をドイツ語に翻訳する授業です。
試験・課題など	次週までに該当箇所をドイツ語に翻訳しておきました。
	日本の文学作品をドイツ語に翻訳することは非常に大変でした。わからない箇所も多々ありましたが、この学習を繰り返すことで単語をたくさん覚えたり、ドイツ語に触れる時間を増やしたりすることができました。

留学に関するタイムチャート

2022年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none">・ドイツ留学申請
4月～7月	<ul style="list-style-type: none">・ドイツ語学習(語学学校へ通う)
8月～9月	<ul style="list-style-type: none">・ドイツ語学習(語学学校へ通う)・閉鎖口座開設、保険加入、航空券の手配、寮の確保等各種手続き・渡独準備(日本の住居の手続き等)
10月～12月	<ul style="list-style-type: none">・秋学期開始・住民登録、滞在許可証取得・クリスマスマーケット・アムステルダム旅行
2023年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none">・学期末試験・ウィーン旅行・パリ旅行・帰国



留学体験記

留学しようと決めた理由	元々大学生になったら留学をしたいと考えており、漠然とアメリカやヨーロッパに興味がありました。コロナ禍で留学自体を断念しようかとも思いましたが、友人や両親に背中を押され、学生時代にやってみたいことは挑戦しておきたいと交換留学に行くことを決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ドイツ語を勉強しておくことは必須だと思います。授業は英語で開講されているものも多いのですが、実際に街中ではドイツ語を使用する機会が多く、ドイツ人の友人と仲良くなるためにはドイツ語が堪能であるに越したことはありません。また、英語もできれば他の留学生とより親しくなれると思います。私は語学能力が中途半端のまま渡航してしまい、最初の頃は慣れないドイツ語に苦戦しました。日本のアニメや漫画について多少語れると話が盛り上がるかもしれません。
この留学先を選んだ理由	所属したゼミナールがドイツ語圏の比較文学・比較文化を扱っていたため次第にドイツ語やその文化に関心を抱き、ドイツ語圏の留学先を探し始めたところ、情コミの交換留学先にゲーテ大学があることを知り留学を決めました。
大学・学生の雰囲気	様々な国から学生が集まっているグローバルな雰囲気でした。私が所属していた日本学部は特に勉強熱心な生徒が多く刺激になりました。学生と先生の距離も近く皆がフレンドリーです。授業中は和気あいあいとした空間で意見も活発に飛び交っていました。
寮の雰囲気	学生が多く集まっているので深夜まで騒がしいと感じることもありましたが寮のキッチンを通じて友達も増えました。入寮したての頃は Wi-Fi が上手くつながらず、隣の部屋の子が助けてくれました。また、料理をしながら会話をしたり、ケーキを焼いてパーティーをしたり、寮から学校まで一緒に通学したりしました。管理人の方もすごく親切でした。
交友関係	知り合いはほとんどいない状態で留学が始まりましたが、日本学部の先生や一部の学生と事前にメールや zoom で やり取りをしていたため頼れる人がいる安心感がありました。授業や寮を通じて友達もどんどん増えていき、年明けからは週末のパーティーに参加することが恒例になったり、カフェでドイツ語を一緒に勉強する仲間ができたりました。また、台湾・トルコ・クロアチアなど様々な国の友人と出会うこともできました。
学習内容・勉強について	日本学部に所属していてドイツ語と日本語の両方を使用する授業に参加していました。初めの頃はドイツ語で話されていることが全く理解できませんでしたが恒常的に触れているうちにリスニング能力が飛躍的に向上したと思います。また、意見を求められる場面が多く「自分はどう思うのか」ということを常に考えて伝えられるように意識していました。わからないところはドイツ人の友人や先生に積極的に質問をし、すぐ解決することで授業についていけていました。助けを求めると皆親身になってアドバイスしてくれます。

<p>課題・試験について</p>	<p>課題は多かったと思います。特に留学生のためのドイツ語では毎回かなりの量の宿題があるのでそれをこなし、プラスで復習をすると大抵3時間程度かかりました。また、自分にとっては日本の文学作品をドイツ語に翻訳する授業の予習がとても大変でした。毎日一時間半ずつコツコツ進めてようやく次週までの分が仕上がるといった具合でしたが、この地道な積み重ねでドイツ語は留学前より飛躍的に伸び、ドイツ語クラスの試験では最も高い評価をもらうことができました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>美術館やオペラ鑑賞、カフェ巡りなど文化的な面に興味関心があったため積極的に出かけるようにしていました。また、ドイツで日本文化(着物の着付け等)を発信している日本人の方に連絡をとって会い、お話を聞くこともできました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時：起床、8時：少し語学学習、9時～13時：授業、13時～14時：昼食、14時～17時：図書館で自習、17時～18時：食料品の買い物、19時：夕食、20時以降：自由時間、0時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>9時：起床、11時～12時：カフェで友人とお喋りやランチ、13時～15時：美術館で絵画鑑賞、15時～19時：自由時間、19時：友人宅でパーティー、0時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>最初の動機は「行ってみようかな」というくらいでも良いと思います。留学することが決まったら語学も必死で勉強するし、手続きもやらなければという必要性に迫られていつの間にか自分で進められる力が身に付きます。困ったときは声をあげれば皆が手を差し伸べてくれますし、何とかあります。何よりも留学すると視野が広がります。新たな交流関係もでき自分にとっての居場所や大切なものが世界中に増えます。意欲的に臨めばきっと良い経験ができると思いますので少しでも気持ちがあればぜひ留学に挑戦してみてください。</p>



